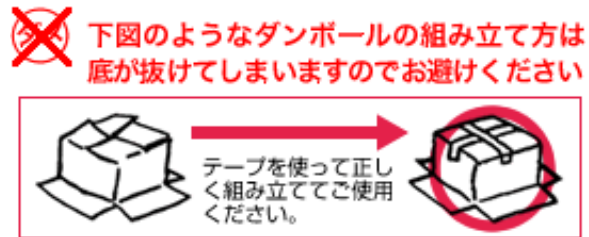


自分で梱包する場合の上手な包み方・詰め方

STEP 1 箱の作り方



テープを使って正しく組み立ててご使用下さい!★

お荷物の梱包に先立ちまして、まずは箱を組み立てる際に、箱の横にロゴが印刷されている場合にはその上下をしっかりと確認し、逆さまに組み立てることがないように留意下さい。

上記の解説図にあります通り、ダンボールの下部/上部共に、必ずテープを使用して組み立てる必要があります。特に書籍等重いものがあります場合にはテープは王の字（ないしH型）になるように、真ん中の繋ぎ目の部分のみでなく両サイドもテープでしっかりと留めて下さい。

STEP 2 お荷物の梱包に際して

ダンボールに梱包する際は、梱包用の紙を箱の底に2-3枚程度敷き、箱への梱包作業が終わったら箱を閉じる前にさらに2-3枚程度お荷物を覆うように紙をかぶせて下さい。

箱の底面・上面が輸送/ハンドリング中に雨等の理由で水がかかった際に、中身の梱包したものにまで水が染込むことを防いだり、カッターを利用して開梱をする際に、梱包したものへのカッター傷を防ぐことができますし、お洋服等身につけるものを梱包されます際にも、ホコリ等が付いてしまうのを防ぐことができるのと、輸送中の湿気を紙が吸い取ってくれる効果もありますので、より安全です。

また、梱包する箱が自分で持てないような重さにならないよう、使用する箱のサイズも考慮して下さい。基本的に本等の重いものは小さな箱へ、洋服等については中サイズの箱に梱包をするイメージで、1箱の重さがMax.で20kgs程度以内（男性1名で持ち上げられる程度の重さ）とするのがベターです。